
ページ数や行数は、初版第 6 刷のもので、それ以前の刷とは、最大で 1 ページずれていることがあります。

ミスプリントなどを修正するために必要な、加筆・修正・変更点

- p.18, 下から 8 行目

その場合は、必ず他の何かの物理量がばらつく。つまり、全ての...

その場合は、他の何かの物理量がばらつくのが普通である。つまり、一般には、全ての...

間違っているわけではないが、わかりやすく改良するための加筆・修正・変更点

- p.18, 最後の行

次のように定義する： 次のように定義する (これに不満な読者は 2.6 節を見よ):

- p.27 と目次, 次の節を追加

2.6 ♠♠ 「同じ状態・異なる状態」再考

この節は、2.2 節の同じ状態・異なる状態の定義に疑問を持った注意深い読者のために、加筆したものである。

問「 ψ の確率分布を測るためには、同じ状態 ψ を何回も用意して測定しなくてはならない。ところが、同じ状態の定義がここで初めて現れるのでは、トートロジーではないか？」

実にもっともな疑問である。答えはこうだ：自然科学では通常、まったく同じようにして生成した状態であれば、それは全て同じ状態であることは、大前提として認める (もちろん、現実の実験では、様々な技術上の困難から「まったく同じように」はできないこともあるが、ここでは原理的な事柄を述べているので、そういう実際面の技術上の問題は考えなくて良い。)これを認めないと、第三者が同じ実験を行って確認する、という自然科学のもっとも重要なプロセスが意味を失ってしまうからだ。つまり、「状態」とは、第一義的には、実験的に生成する仕方と定義されているのである。その上で、まったく別の生成の仕方で作った 2 つの状態 ψ, ψ' が同じ状態かどうかを定義したのが、2.2 節の定義の内容なのである。

- p.67, (3.136) の 4 行下

普通は、純粋状態を... 普通は、(3.131) のように純粋状態を...